

資材・機器・工法さえ生み出す 抜型のスペシャリスト集団

海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン



ベニヤ板に抜型の刃を埋め込む

業務内容
もっと安全に、
もっと簡単に、

「大創」は紙や段ボールを取り扱う加工業に携わり抜型職人^{ぬきがたしごと}をしていた大塚 攘治^{じょうじ}会長が、抜型が世間に出回り始めた昭和46年に「誰もが安全にかつ簡単に作業ができる抜型を作りたい」との思いから「大塚木型製作所」として創業した。

紙加工業において抜型は紙器の大量生産を可能にし、納期短縮を実現する利点がある。抜型自体も保管が容易なため、紙器加工分野で普及している。同社には、月に2,000〜4,000件のオーダーが入り、取引先は2,000社を超えるまでになった。

強み
打ち抜きの
トータルコーディネーター

紙器加工業界では、抜型や資材などの単一商材を提供する企業が多いが、同社は打ち抜き加工に関して周辺資材も含めたトータルコーディネートで顧客の個々の要望に応える。現在顧客が使用している打ち抜き機^{きり}の特性を十分把握し、作業する人が使いやすいと感じるように抜型を仕上げる。

ITを駆使した営業戦略も強みとしている。創業者である大塚会長は「これからは空中戦だ」とインターネットが一般に普及し始めたところからITを駆使した営業戦略を展開してきた。現在では国内外からウェブサイトを通じたオーダーも順調に増えている。

人材育成
「魂を込めたものづくり」
の伝承

「技術の大創」と呼ばれるべく、品質の向上と技術の浸透を図る目的で社内技術大会「D-1」を平成24年から開催している。課題に沿った抜型を製作し、仕上がり具合で

優劣を決する。「魂を込めたものづくりを進めていきたい」と考える大塚雅一^{しんいち}社長の想いがこもった大会で、「いつの日か同業他社ともやってみたい」と社外にも広げる夢を見る。「深化・進化・真価・新価」という4つのシンカ（S-I-K-A）をキーワードに若手人材の育成にも注力する。創業者自ら想いを伝え、事業への理解と愛情を深めるとともに、若手のチャレンジ精神を啓発するのが狙いだ。全国展開する顧客のため、どの工場でも同じ品質の製品をつくれるよう「全体最適」を常に目指す。

今後の展望
展示会をきっかけに
海外にも展開

国内需要は人口減少に伴い縮小傾向にあることを見据え、今後はアジア・欧州など海外展開を積極的に進めていく。現在、21カ国の23代理店と提携しており、今後は現在の中心商材である周辺資材だけでなく、抜型そのものも積極的に売り込んでいく。

平成28年には海外の展示会にも初めてチャレンジした。「確かな手応えを感じている」と大塚社長はグローバル展開に今後の成長を期待する。実際に東欧、南米、中東、アフリカからの引き合いも増えてきたという。強みであるITツールを駆使し、さらなる発展を目指す。



厳格な品質管理体制



海外でも販売される副資材「Gテープ」

当社の歴史



会長である大塚攘治（じょうじ）がパッケージ加工業を経て昭和46年に独立、創業しました。社名の「大創」は「大いなる創造」が由来です。経営理念は「人間学の経営。夢企業の実現」。お客様の役に立てよう、「雲竜のごとく人財の大創」、「独創技術のさらなる発展とオンリーワンで躍進する経営風土」を目指します。

代表取締役社長 大塚 雅一さん

<http://www.daiso-net.com/>

主な事業内容

平盤打ち抜き加工向けの抜型製造、副資材の製造販売

主な取引先（納入先）

紙器・段ボールの製造メーカー、BOXメーカー、製袋加工業者

- 住 所 〒574-0061 大東市 大東町10-10
- TEL 072-875-2951
- FAX 072-873-5008
- 創業 昭和46年9月
- 設立 昭和54年2月
- 資本金 3,600万円
- 従業員 140名

大創 29